

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100583
法人名	医療法人 甲和会
事業所名	グループホーム なごみ
所在地	鹿児島県鹿児島市甲突町24-16 (電話) 099-2243106
自己評価作成日	平成27年11月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームなごみの理念、あるがままの貴方そっと寄り添い貴方の出来ること したい事を尊重します。 貴方と家族の絆を大切に支え、地域の中で自立した生活が出来るよう支援します。

この理念に沿った介護が提供出来るよう、日々研修や勉強会、地域交流参加を行っています。 自治会に加入し地域行事の参加、校区小学校との交流、運営推進会議による情報の共有等努めています。 入居される方々は在宅時からのお付き合いの方も多く、同敷地内のデイサービス(小規模)をご利用されながら、介護度が上がり自立での生活は困難になり入居されるケースも多く

立地場所が馴染み深い(甲突川沿い)場所である事からお声かけにも快く応じて下さり、周辺の散歩でも現在の体力を落とす事がないよう、個別での機能訓練にも取り組んでいます。

レクリエーション、外部レクリエーションはデイサービスからの資格者に意見を仰ぎ季節や個別の運動機能等に合わせ1週間に2日は長時間による取り組みを行っています。

職員各々の経験と能力を活かして現場に取り組める様、ユニットリーダーによるチーム作りも日々勉強し行っています。

入居者様、現場と家族、管理側との信頼あつての私共グループホームなごみであると思っています。

鹿児島市中心部の住宅街の一角に、系列法人の医療機関に併設されているグループホームである。開設間もない頃より地域密着型サービスとして自治会に加入するなど地域交流に積極的に取り組んでおり、会合出席や校区小学校の運動会参加、ホームの催し物(花見・敬老会・運動会・夏祭り等)においては地域の方々や児童センターの子ども達の参加により準備、設営、余興など多方面からの協力が得られ、毎回盛況に行われるなど良好な関係が築かれている。また、安全対策も避難訓練時に運営推進会議を開催して地域の運営推進委員の方々や家族の参加で気づきや助言をもらうなど町内会の理解と協力が得られている。

隣接する系列法人の医療機関との連携により利用者の健康管理も徹底されており、重度化や看取りにおける支援も本人・家族の思いや意向に沿って主治医・看護師・家族・職員がチームとなりホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。

職員育成にも力を入れておりレベルアップに向けた資格取得も働きながら学べる環境を作り、現在介護福祉士8名、ケアマネ1名、看護師1名、准看護師1名とほとんどの職員が有資格者となっており知識と経験の豊富な職員が多数確保されている。今年度は定年退職等により職員の交代が多かったが、職員数を増やし、余裕のある職員体制にして利用者と同じく向き合い話をする「一日ひと部屋運動」に取り組み、より利用者との信頼関係の構築に努めている。今後も更なるサービスの質の向上に向けてさまざまな取り組みが期待されるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「あるがままの貴方にそっと寄り添う」事を念頭に、地域の中での生活を実践出来る様、施設内の各所に理念を掲示し、共有に努めている	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成している。理念は毎朝唱和し、年2回理念と個人目標についての振り返りを行っている。理念は職員の目につきやすいように玄関、ホール、廊下、スタッフルーム等随所に掲示している。また、パンフレットにも明記されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の児童センターや小学校との交流や、町内会への参加を行い、地域の行事へ積極的に参加を行い交流を図っている	町内会に加入して管理者が会合にも参加している。地域行事見学や小学校との交流も盛んで、子供達がホームに訪れる機会も多い。また、日常的にホームの家庭菜園の手入れや野菜の差入れなどもあり、ホームの催し物(花見・運動会・敬老会・家族会)には毎回地域の方々や児童センターの子供たちが設営や余興で訪れるなど地域とは良好な関係が築かれている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣とのつながりは限られたものではあるが、児童センター等との交流や町内会の行事参加を以て認知症に対する理解をして頂ける様努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族をはじめ様々な第3者に参加頂き、状況報告を行い、意見や助言を頂た上で日々の介護に活かしている	町内会長・民生委員・児童センター園長・消防分遣隊・近隣のグループホーム管理者・家族・行政等の幅広い参加で2ヶ月に1回開催している。会議は地域の理解と協力が得られる機会となり利用者のサービスの質の向上、ホームの運営、安全対策に活かされている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターとの連携を図り運営推進会議等を以て状況報告や、情報を教えていただいている。また、生活保護受給者もおり、定期的に福祉課との連携を図っている	生活保護受給者もおり、福祉課との連携や、運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加があり、ホームの実情や取り組みを定期的に報告している。毎年、介護相談員の受け入れも行っている。また、管理者は市の長寿支援課において講師もしており協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束ばかりでなく、言葉による精神的な拘束も含め、事例等の情報を共有し話し合い、拘束のないケアを徹底している	契約書に「原則として身体拘束は行いません」と明記されており、身体拘束廃止委員会を設置して毎月話し合いの機会を設け拘束のないケアに取り組んでいる。ホーム内、死角や階段など危険箇所はあるが、職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修や法人内での会議で意見交換を行い、虐待が見過ごされない様情報を共有し、互いに注意できる環境、意識付けを行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を利用されているご利用者の経験を基に、管理者や、研修に参加した職員を中心に情報を共有し、基礎的な理解が出来る様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約は、書面を用いて個別に面談を行い、十分な理解と納得が得られる様に、丁寧な説明に努めている。また内容の変更や解約の際にも同様に行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時や電話連絡時、運営推進会議へ参加の際に、意見や要望を引き出せるように努めている。また、ご意見箱を設置し、意見を投書頂き、職員間で共有し運営に反映できる様努めている	日常の面会時、電話連絡時、運営推進会議、家族会などに意見、要望を引き出すように努めている。また、家族参加の行事も多くスタッフとコミュニケーションを図っている。出された意見や要望については職員全員で話し合いサービス向上及び運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常業務の中で話しやすい関係を築き、日頃の会話や月1回の法人内での会議を以て、意見や提案を提起し、管理者や代表者が検討し運営に反映している	毎朝・夕の申し送り時及び全員参加の職員会議を毎月行ってカンファレンスと職員の意見や提案を全員で話し合う機会としている。また、各種委員会会議（身体拘束・感染予防・リスク予防・環境衛生・給食・風紀委員）も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人の希望や条件にあった就労が出来る様に常日頃の勤務状況の把握を行い、年に数回の面談を以て、意見要望を確認し、職場の環境整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スキルアップを図り、各研修への参加や資格取得が出来る様情報の提供を行っている。また、職員からの意見要望を受けての、内部研修を実施している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営推進会議に、包括支援センターの方に参加頂き、他事業所との相互参加をさせて頂いている。また、定期的に他介護施設への見学・研修へ行かせて頂き交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	先入観を持たず、初回の面談時にご本人の思いを汲み取れる様努めている。また、利用開始直後も、安心した生活が送れる様、時間や場所の工夫を行い、職員間で情報の共有を図っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時に、ご家族の不安やご利用者に対する思いを受け止め、支援へのご理解と問題の解決に向け、利用開始後もご家族と一緒に協力出来る関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在何が一番必要な支援なのかを考え、対応している。また、介護保険外のサービスも含めた対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のこれまでの経験や人生観を踏まえて、主体はご利用者である事を折に触れ、生活の中でその力を発揮して頂いている。「ありがとう」の言葉を忘れず、感謝の気持ちを持つ様心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の絆を大切にし、ご本人を支えるのは先ずご家族である事を念頭に、行事への参加や面会時の会話、相談を以て、共に支えていく関係を築ける様努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法人内の他事業所との交流や、地域の行事への参加、近隣の散歩等を通じて関係の維持を図っている。また、ご親戚やご友人が面会に来やすいような雰囲気づくりに努めている	日常の会話等で本人の希望を聞き取り、家族と協力しながら、入居前からの行きつけの美容室利用、入院先への面会、お墓参りなど馴染みの人や場との関係継続の支援を行っている。また校区出身の利用者も多く、友人知人の面会も多い。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が一人ひとりの性格や特性を把握し、孤立しないよう声掛けを行い、日常生活やレクリエーションを通じて会話が持てるような雰囲気づくりに努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	頂いたご縁と出会いを大切にし、退去後も、ご本人への面会や電話連絡を以て、継続した関係性を保つよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	あるがままのご本人に寄り添う気持ちを念頭に、日常の言葉や行動等でご本人の思いや希望を把握し、記録に残すことによって、職員間で共有出来る様努めている	家族、関係者からの情報、日常の会話や言動、表情などから思いや意向を把握するように努めている。目が不自由な利用者もいるが、自立を妨げないように利用者本位の支援に努めている。また「一日ひと部屋運動」として一対一でじっくりと話を聞く取り組みも行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から職業歴や生活歴等の情報を頂き、参考にしながらアセスメントを行い得意な事や趣味等が継続出来る様に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	大まかな日課や、週間予定はあるが、一人ひとりの生活ペースを大切にし、状況に合わせた臨機応変な対応を心掛けている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は、日々の気付きや意見を反映しカンファレンスで検討を行い、現状にあったケアが出来る様計画を立てている。変化があった場合はその都度見直しを行い、カンファレンスを開催し介護計画の作成を行っている	入居時に本人、家族の生活に対する意向を聞き、職員、主治医の意見を取り入れながら個々に応じた介護計画を作成している。日常生活で変化が見られたら都度見直しを行い、また、変化がなくても定期的(6カ月)にモニタリングを行って見直しに活かして現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の身体状況や認知症の状況等の把握に努め、情報を共有出来る様努めている。申し送り時には実践の結果、気づき等を報告し情報の共有を図っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々に合わせ、その時の状況に応じたケアを行うために、協力医療機関や他事業所との連携を以て、多方面から柔軟に物事を捉えられるよう努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加を積極的に取り入れ、閉ざされた空間での生活にならないよう努力している。また、日頃より児童センターや小学校、町内会等との交流を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどのご利用者が法人内の医療機関がかかりつけ医となっており、密に連携を図っている。また、他科受診については、基本ご家族同行としているが、状況によって職員が同行するなど適切な受診が出来る様支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。ほとんどの利用者が隣接する法人の医療機関がかかりつけ医となっているが、他科受診においては本人・家族の状況によりホームでも柔軟に受診同行している。隣接する法人の医療機関とは24時間連携が図られて利用者の健康管理が密に行われている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に看護師の協力や関わりが得られており、ご利用者の日々の情報を看護師と共有し相談、指導を以て職員の意識や知識の向上に努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は主治医より紹介状を頂き、情報の提供を行っている。日常生活の状態や支援に関する情報は介護サマリーを作成し、早期治療や退院が出来る様に情報を提供している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や看取りに関する指針について説明を行っている。その上で、ご家族の意向や希望を優先し、主治医や看護師との連携を以て、可能な限り希望に沿った支援が出来る様努めている	重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時にホームの方針を説明している。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医の判断のもと、家族と方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。「看取り介護についての同意書」も作成している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、定期的な内部研修を行っている。また、法人内の看護師から緊急時や初期手当の指導を受け、実践出来る様図っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力の元、年2回の避難訓練を実施している。また、災害対策マニュアルを作成し緊急時の対応に備えている	年2回昼夜間想定で防災訓練を行っている。運営推進委員の方々の参加もあり、地域とは災害時の協力の話し合いが行われている。自動通報システム、スプリンクラーは設置済みで備蓄も確保されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、馴れ合いからくる言葉遣いや態度に注意している。排泄時や入浴時等の声掛けや人目にも配慮し、プライバシーを損ねない様努めている	外部から講師を招いて定期的に勉強会を行い、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。特に排せつ介助は人格を尊重した声かけや対応に配慮するように職員に周知徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で、本人の希望や思いを理解するよう心掛けている。また、誕生日には本人の希望に沿って外食等の思い出に残る1日を過ごせるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を優先するよう心掛け、好きな事をしてマイペースに過ごせる様支援している。特に朝の起床や朝食などは、出来る限りその方のペースに合わせ、業務中心のケアにならないよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた服装の中からご本人に着る服を選んで頂きながら支援している。また、定期的な訪問理容も依頼しており、パーマや毛染め等本人の希望に沿って行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中は楽しい雰囲気になる様心掛けて支援している。また、ご利用者の可能な範囲で準備や後片付けを職員と共に行っている	個々の力量に応じて下膳、食器洗い、家庭菜園の収穫など手伝ってもらっている。ときには、ホットプレートを使ってのお好み焼きやホットケーキなど趣向を凝らしてホーム内でも「食」が楽しめるように支援している。また、個別の外食やお弁当持参での遠足にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方にあった形態や量を提供し、毎日の食事量や水分量の把握に努め、足りない方への声掛けや、補食や代替食での栄養・水分補給を図っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は毎回口腔ケアを行い、口腔内の清潔や状況の把握を行っている。また、提携している歯科医に定期的に指導や助言を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人からの訴えや、排泄チェック表を参考に、排泄パターンを把握し声掛けを行い、可能な限りトイレでの排泄を支援している	身体状況に問題がない限り、日中はトイレ誘導を行ってトイレでの排せつを支援している。自立している利用者もおり、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	身体を動かす時間を設定し、定期的に体操を行っている。また、排便コントロールをする為、便秘気味な方には寒天ゼリー等食物繊維を多く摂って頂く様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めてはいるが、本人の希望に沿って、いつでも入浴出来る様、柔軟に対応している。また、体調不良時にも、清潔保持の為、本人の希望に合わせ、清拭や手浴、足浴を行っている	基本的には週2～3日を目安としているが、個々の希望や身体状況に応じて回数や時間など柔軟に入浴支援を行っている。自立している利用者には職員の見守りで安全で安心して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活パターンが出来ており、ご本人の体調を考慮しながら希望に沿った起床時間や就寝時間、昼寝等の支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を見て薬の内容を確認し、誤薬等が無い様に努め、ご本人が服薬を飲み込まれるまで確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人個人に合わせて得意なことを把握できる様レクリエーション表を作成し、取り組んで頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近くの公園への散歩や買い物等、ご本人の希望に添えるよう努めている。また、地域の行事への参加や外出レクに積極的に取り組んでいる	日常的にはホーム前の公園の散歩、買い物などに出かけて気分転換を図っている。また、地域行事見学や遠足、季節の花見、近隣の公共施設見学、誕生日の個別の外出支援などの普段行けないような場所への外出も楽しめるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出レクリエーション等を通してスーパー等に行かれた際、ご本人に品物を選んで頂き、レジにて買い物する機会を設けている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望がある際、職員がご家族へ連絡し、その旨を伝えて、居室にてゆっくりと会話出来る様空間作りに努めている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた壁面の飾り付け等を行い、フロア内に掲示している。また、行事等で撮影した写真を掲示する事でご本人が自ら振り返られる様環境作りに努めている	ハード面をカバー出来るように風紀委員を中心として廊下や共有空間を手作りの飾り物や暖簾、レクリエーション時の写真などで飾り、家庭的で温かい雰囲気になるように工夫されている。共用空間のダイニング兼リビングには大きなテーブルとソファなどが置かれ、利用者はそれぞれお気に入りの場所できつろげるように配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有フロアでは、所定の位置に座られ、顔なじみな方がそばに居る事で落ち着かれる方もいる。ご利用者同士の相性にも目配りをする様注意している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	初期段階での居室作りをする際からご本人にとっての使い勝手を考慮し、衣類や物等を取り扱いしやすい様になっている。家族の写真などは特に目につきやすいようにしている	居室の入り口にはそれぞれに違う柄の暖簾が掛けられている。寝具、テレビ、ラジオ、テーブルとイス、お仏壇、家族の写真など馴染みの物品が持ち込まれ、それぞれに居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その日の体調を考慮して、出来る事・出来ない事を見極めて、手を出しすぎずに出来無い所に対しては出来る所まで見守りを行っている。また、廊下を歩行訓練される方も居るため、動線にも配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない